



おかげさまで「ロックマンシリーズ」は  
もうすぐ30周年!

# 第39期 中間株主通信

平成29年4月1日から平成29年9月30日まで



## ROCKMAN CLASSICS COLLECTION 2

### 株式会社カプコン

(証券コード：9697)

「ロックマン クラシック コレクション 2」  
©CAPCOM CO., LTD. 2017 ALL RIGHTS RESERVED.





辻本 憲三



辻本 春弘

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社グループ第39期上期(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)の事業の概況と中間決算についてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間における当業界は、家庭用ゲーム機「プレイステーション 4」の普及拡大や新型ゲーム機「Nintendo Switch(ニンテンドースイッチ)」が好調に推移したことにより、スマートフォンを主体としたモバイルゲームに押されてきた家庭用ゲーム市場が活性化するなど、復調の兆しが見えてまいりました。

また、今年6月に米国で開催した世界最大級のゲーム見本市「E3」において、当期の目玉タイトルであるシリーズ最新作「モンスターハンター：ワールド」(プレイステーション

4、Xbox One、パソコン用)が注目を浴びたほか、同じく9月開幕の「東京ゲームショー2017」でも来場者の圧倒的な人気を集めるなど、来年1月の発売に向けて期待が高まってまいりました。

こうした状況下、当社はモバイルコンテンツ部門見直しの一環として、完全子会社の株式会社カプコン・モバイルを吸収合併するなど、開発と運営の一体化によるマネジメント体制の強化に取り組んでまいりました。

加えて、収益の改善を図るため、売上原価の低減や販売費および一般管理費の抑制など、経費の圧縮に努めてまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は337億29百万円(前年同期比17.6%増)となりました。利益面につきましては、当社のIP(知的財産)を活用したライセンス収入の貢献もあって、営業利益50億1百万円(前年同期比191.5%増)、経常利益50億16百万円(前年同期比875.5%増)、親会社株主に帰属する中間純利益34億81百万円(前年同期比757.5%増)となりました。

なお、中間配当金につきましては、1株当たり25円とさせていただきます。

今後の見通しといたしましては、増勢を続けてきたモバイルコンテンツの勢いが鈍化する中、主戦場である家庭用ゲーム市場が新型ハードの普及拡大により盛り上がることに加え、VR(仮想現実)やAR(拡張現実)を活用した市場規模は増大するものと思われま。また、米国を中心に海外で人気上昇中の「eスポーツ」(エレクトロニック・スポーツ)が

「2022年アジア競技大会」の正式種目に採用されるなど、趣向を凝らした新たなスポーツとして認知されたことも強い風となり、市場拡大に弾みがついてまいりました。

こうした環境下、「東京ゲームショー2017」において開催されたゲームの勝敗を競い合う「e-Sports X(イースポーツクロス)」イベントにおいて、当社の人気タイトル「ストリートファイターV」が観戦者の熱気に包まれるなど、国内でも新たな事業領域の創出に向けた機運が高まってまいりました。

このような情勢のもと、当社は競争力の源泉である家庭用ゲームソフトの開発に注力するため、マネジメント体制の強化や開発陣の拡充、開発環境の整備に努めてまいります。

加えて、足踏み状態が続いているモバイルコンテンツの局面打開を図るため、利用者の嗜好に対応した訴求タイトルの開発、投入に加え、コンテンツ提供後の的確な運営や管理ノウハウを蓄積するほか、提携ソフトの供給など、顧客満足度の向上に集中することにより、活路を開いてまいります。

さらに、販売形態の多様化を推進するため、利益率が高く持続的成長が見込まれるダウンロード版の拡大に一層尽力するほか、既存顧客の深耕や新規ユーザーの開拓に努力してまいります。また、当社の人気タイトルを活用したワンコンテンツ・マルチユース戦略を推し進めるとともに、収益力アップを目指してIPを活用したロイヤリティ収入の拡大など、多面的なコンテンツビジネスに取り組んで

まいります。

加えて、国内市場が成熟する状況下、市場規模が大きいグローバル展開を加速させるため、海外で人気のある豊富なコンテンツ資産を活用して現地企業との協業などにより、オンラインゲーム配信を拡充させてまいります。

他方、逆風が吹き荒れるパチスロ機部門は、先行き不透明感を払拭できないものの、新基準に適合した訴求力のある機種開発を迅速に進めるなど、環境の変化に対応した事業戦略により、現状を打破してまいります。

業界の市場環境が急速に変化する状況のもと、当社は中長期的視点に立った経営資源の選択と集中により、子会社と求心力を高めたグループ全体の最適化を目指すとともに、企業体質の強化に全力を傾注してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

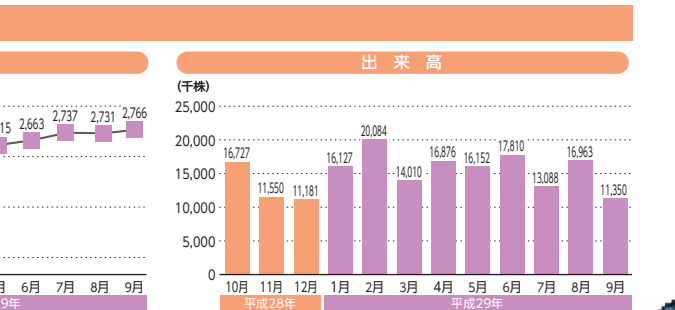
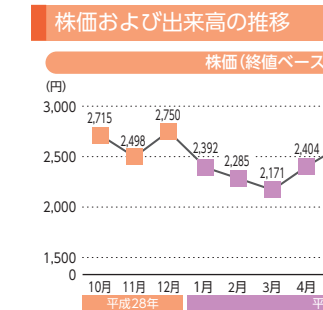
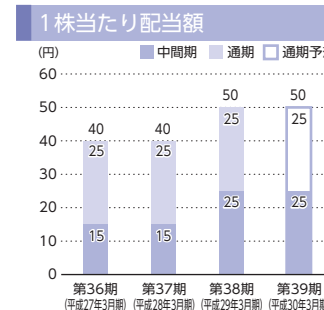
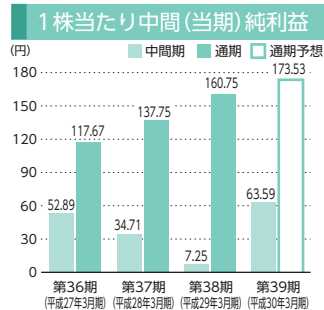
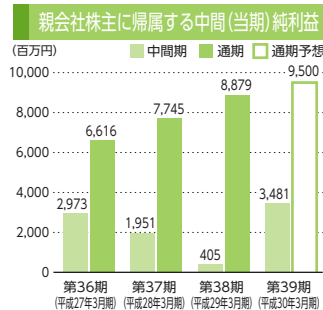
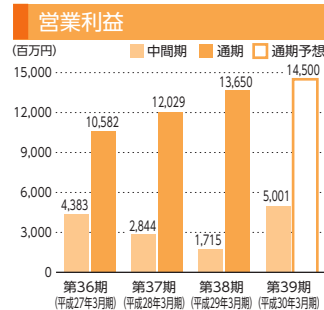
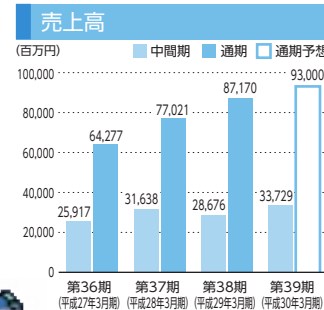
平成29年11月

代表取締役会長  
最高経営責任者(CEO)

辻本 憲三

代表取締役社長  
社長執行役員  
最高執行責任者(COO)

辻本 春弘



## デジタルコンテンツ事業

Nintendo Switch向け「**モンスターハンターダブルクロス**」が堅調に推移するとともに、今年9月に欧米をターゲットにした「**マーベル VS. カプコン：インフィニット**」(プレイステーション 4、Xbox One、パソコン用)を発売いたしました。

また、「**ウルトラストリートファイターII**」(Nintendo Switch用)がスマッシュヒットを放ったことに加え、前期発売の「**モンスターハンターダブルクロス**」(ニンテンドー3DSシリーズ用)などのリピート販売も収益向上に一定の寄与を果しました。

加えて、オンラインゲームは、配信10周年を記念して大型アップデートを行った「**モンスターハンター フロンティア Z**」が根強い人気に支えられ底堅く展開したほか、現状打開に向けて提携戦略等の事業改革を推進中のモバイルコンテンツは、「**モンスターハンター エクスプロア**」が安定

した人気を持続するとともに、IPを用いたライセンス収入が利益向上に寄与いたしました。

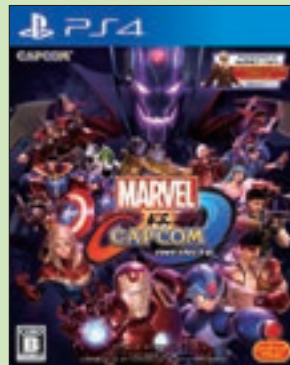
この結果、売上高は201億38百万円(前年同期比23.0%増)、営業利益38億30百万円(前年同期比248.4%増)となりました。

### 売上高構成比

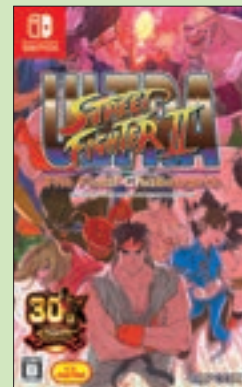
平成29年  
9月期 **59.7%**



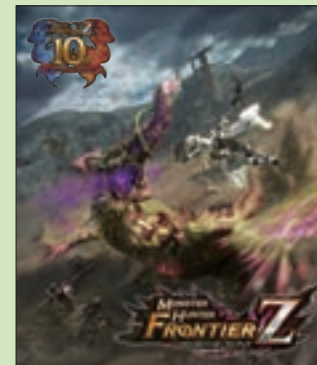
「**モンスターハンターダブルクロス**」  
(Nintendo Switch用)



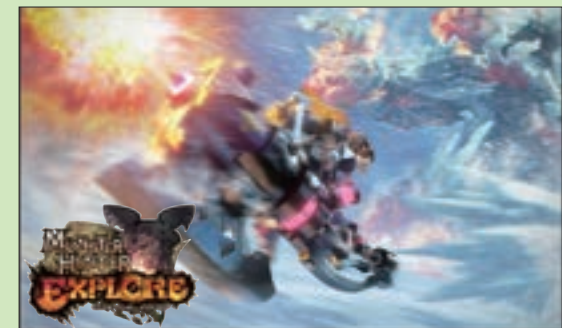
「**マーベル VS. カプコン：インフィニット**」  
(プレイステーション 4、Xbox One、パソコン用)



「**ウルトラストリートファイターII  
ザ・ファイナルチャレンジャーズ**」  
(Nintendo Switch用)



「**モンスターハンター フロンティア Z**」  
(プレイステーション 4、プレイステーション 3、  
プレイステーション ヴィータ、Wii U、Xbox 360、パソコン用)



「**モンスターハンター エクスプロア**」  
(アンドロイド、iOS用)

## アミューズメント施設事業

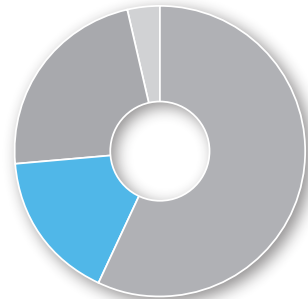
ライフスタイルが多様化する中、「安・近・短」の身近な娯楽施設として回復基調のもと、顧客ニーズに対応したゲーム機の設置や各種イベントの開催、サービスデーの実施など、ユーザー志向に立った施設展開により、親子連れなど新規顧客の取り込みやリピーターの確保に取り組むとともに、店舗運営コストの削減等による収益展開を図ってまいりました。

新規出店といたしましては2店舗をオープンするとともに、1店舗を閉鎖いたしましたので、施設数は37店舗となっております。

この結果、売上高は51億79百万円(前年同期比7.7%増)、営業利益6億34百万円(前年同期比32.7%増)となりました。

### 売上高構成比

平成29年  
9月期 **15.4%**



## アミューズメント機器事業

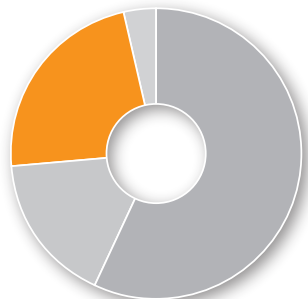
パチスロ機部門は、近年の型式試験方法の変更が大きく響き、新規投入の「バイオハザード リベレーションズ」は軟調に推移いたしましたものの、原価率の低減により一定の利益を確保することができました。

一方、業務用機器部門につきましては、メダルゲーム「モンスターハンター メダルハンティングG」が安定した人気に支えられ、計画どおり展開いたしました。

この結果、売上高は73億30百万円(前年同期比12.3%増)、営業利益19億25百万円(前年同期比16.6%増)となりました。

### 売上高構成比

平成29年  
9月期 **21.7%**



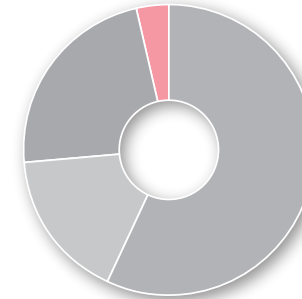
## その他事業

主なものはライセンス許諾によるロイヤリティ収入やキャラクターグッズなどの物品販売で、売上高は10億80百万円(前年同期比12.3%増)、営業利益5億71百万円(前年同期比44.5%増)となりました。



### 売上高構成比

平成29年  
9月期 **3.2%**



「イオンモール津田沼(千葉県習志野市)にオープン」



「バイオハザード リベレーションズ」 「モンスターハンター メダルハンティングG」

©CAPCOM CO., LTD. 2015, 2017 ALL RIGHTS RESERVED.

©2017 MARVEL ©モト企画

©CAPCOM CO., LTD. 2017, ©CAPCOM U.S.A., INC. 2017 ALL RIGHTS RESERVED.

©CAPCOM U.S.A., INC. 2017 ALL RIGHTS RESERVED.

©CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

©CAPCOM 2015

©CAPCOM CO., LTD. 2011, 2017 ALL RIGHTS RESERVED.



中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	前中間期 (平成28年9月30日現在)	当中間期 (平成29年9月30日現在)	前期 (平成29年3月31日現在)	科目	期別	前中間期 (平成28年9月30日現在)	当中間期 (平成29年9月30日現在)	前期 (平成29年3月31日現在)
<b>【資産の部】</b>					<b>【負債の部】</b>				
流動資産		70,054	81,859	85,480	流動負債		22,344	22,897	29,994
現金および預金		22,260	23,088	24,537	支払手形および買掛金		1,267	2,277	2,288
受取手形および売掛金		7,337	11,156	20,175	電子記録債務		1,836	2,326	4,886
商品および製品		1,618	1,516	1,583	短期借入金		9,835	4,473	9,323
仕掛品		1,812	1,538	2,040	未払法人税等		920	1,427	1,580
原材料および貯蔵品		1,489	1,620	2,040	賞与引当金		653	792	2,263
ゲームソフト仕掛品		28,779	37,353	30,150	その他		7,830	11,600	9,651
その他		6,773	5,606	4,973	固定負債		14,909	10,886	11,128
貸倒引当金		△15	△20	△21	長期借入金		10,524	6,051	6,788
固定資産		35,591	32,613	33,417	退職給付に係る負債		2,403	2,712	2,596
有形固定資産		20,390	21,232	20,768	その他		1,981	2,122	1,743
建物および構築物(純額)		10,959	11,570	11,004	負債合計		37,254	33,783	41,122
その他(純額)		9,430	9,661	9,763	<b>【純資産の部】</b>				
無形固定資産		7,285	1,893	2,843	株主資本		71,418	80,633	78,521
投資その他の資産		7,916	9,487	9,804	資本金		33,239	33,239	33,239
その他		8,026	9,559	9,877	資本剰余金		21,328	21,328	21,328
貸倒引当金		△109	△72	△72	利益剰余金		38,297	47,514	45,402
資産合計		105,646	114,472	118,897	自己株式		△21,447	△21,449	△21,448
					その他の包括利益累計額		△3,026	55	△747
					その他有価証券評価差額金		△9	138	107
					為替換算調整勘定		△2,767	214	△541
					退職給付に係る調整累計額		△249	△298	△313
					純資産合計		68,392	80,689	77,774
					負債純資産合計		105,646	114,472	118,897

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前中間期 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)	当中間期 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)	前期 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)
売上高		28,676	33,729	87,170
売上原価		19,986	20,547	56,438
売上総利益		8,689	13,181	30,731
販売費および一般管理費		6,973	8,179	17,080
営業利益		1,715	5,001	13,650
営業外収益		68	125	192
受取利息		24	26	47
受取配当金		7	7	13
為替差益		—	54	—
その他		36	36	130
営業外費用		1,270	110	1,253
支払利息		71	53	141
支払手数料		23	32	44
為替差損		1,167	—	746
その他		7	24	322
経常利益		514	5,016	12,589
特別損失		7	64	99
固定資産除売却損		7	64	99
税金等調整前中間(当期)純利益		506	4,952	12,489
法人税等合計		100	1,471	3,610
法人税、住民税および事業税		751	1,218	1,832
法人税等調整額		△650	252	1,777
中間(当期)純利益		405	3,481	8,879
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益		405	3,481	8,879

表紙の説明 ロックマン クラシック コレクション 2

「ロックマン」は、昭和62年にファミリーコンピュータ向けアクションゲームとして第1作目が発売されました。個性的なキャラクターと、攻略の自由度の高さや歯ごたえのある絶妙なバランスが人気となり、これまでに130以上の作品が制作され、数多くのシリーズが誕生しました。

そしてゲームソフトに留まらず、キャラクターグッズ、コミック、TVアニメや映画など多彩なメディアへと展開され、現在でも幅広い年代から人気を博しているカプコンを代表するシリーズであり、本年12月に30周年を迎えます。

8月に発売した「ロックマン クラシック コレクション 2」には、「ロックマン7」から「ロックマン10」のシリーズ4作品が収録されています。



中間連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	期別	前中間期 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)	当中間期 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)	前期 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー		△5,772	6,908	3,200
投資活動による キャッシュ・フロー		△1,038	△1,658	△3,628
財務活動による キャッシュ・フロー		2,760	△7,229	△3,130
現金および現金同等物 に係る換算差額		△2,118	730	△533
現金および現金同等物 の増減額		△6,169	△1,249	△4,091
現金および現金同等物 の期首残高		28,429	24,337	28,429
現金および現金同等物 の中間期末(期末)残高		22,260	23,088	24,337



会社の概要

(平成29年9月30日現在)

社名 **株式会社カプコン**  
(CAPCOM CO., LTD.)  
設立 昭和54年5月30日  
創業 昭和58年6月11日  
主要な事業内容 家庭用テレビゲームソフト、オンラインゲーム、モバイルコンテンツおよびアミューズメント機器等の企画、開発、製造、販売、配信ならびにアミューズメント施設の運営  
資本金 332億39百万円  
従業員数 連結3,000名(単体2,436名)  
ホームページ <http://www.capcom.co.jp/>

株式の状況

(平成29年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 150,000,000株
- 発行済株式の総数 67,723,244株
- 株主数 12,797名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数 千株	持株比率 %
株式会社クロスロード	6,374	11.64
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,717	8.62
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,201	4.02
辻本良三	2,019	3.69
辻本美之	2,019	3.69
辻本春弘	2,018	3.69
辻本憲三	2,009	3.67
ジェーピー モルガン チェース バンク 380055	1,183	2.16
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	1,016	1.86
ジェーピー モルガン チェース バンク 385632	965	1.76

(注) 持株比率については、自己株式数(12,977千株)を控除して算出しております。

取締役および監査等委員である取締役

(平成29年9月30日現在)

代表取締役会長  
最高経営責任者(CEO) **辻本 憲三**  
代表取締役社長  
社長執行役員  
最高執行責任者(COO) **辻本 春弘**  
取締役専務執行役員 **江川 陽一**  
取締役専務執行役員  
最高財務責任者(CFO) **野村 謙吉**  
取締役 **保田 博**  
取締役 **佐藤 正夫**  
取締役 **村中 徹**  
取締役(常勤監査等委員) **平尾 一氏**  
取締役(常勤監査等委員) **岩崎 吉彦**  
取締役(監査等委員) **松尾 眞**  
取締役(監査等委員) **守永 孝之**

(注) 1. 取締役 保田 博、佐藤正夫、村中 徹、岩崎吉彦、松尾 眞 および守永孝之の各氏は、社外取締役であります。また、社外取締役6名全員は株式会社東京証券取引所に対し、独立役員として届け出ております。  
2. 取締役(監査等委員) 小田民雄氏は、平成29年9月30日をもって、健康上の理由により辞任いたしました。

カプコンIRサイトのご案内 <http://www.capcom.co.jp/ir/>

当社では、株主や投資家の皆様に最新情報をタイムリーに提供することを目的として、ホームページを活用したIR活動にも注力しております。カプコンIRサイトでは、株式情報や経営戦略に加え、開発者へのインタビューやアナリストコンセンサスなど様々な情報提供を行っております。

当社IRサイトは、情報の充実度や使いやすさにおいて評価機関より高い評価をいただいております。



IRトピックス

いま注目すべきIR活動をメインビジュアルで視覚的に告知することに加え、最新情報が素早く確認できるシステム(RSS)にも対応しております。

ソーシャルメディア CAPCOM IR 公式アカウント

TwitterやFacebookなどのソーシャルメディアを通じて、プレスリリースや新聞・テレビでのメディア掲載情報などを発信しております。

IRアプリ「カプコンIR (iOS版)」

最新リリースや決算情報などのIR情報をお届けするiPhone向けアプリケーションです。資料の閲覧や保存ができるほか、IRイベントのスケジュール登録などが簡単な画面操作でご利用いただけます。  
<http://www.capcom.co.jp/ir/mobile/apps.html>

スマートフォンからもIR情報へアクセス

当社の業績概要や株式情報がスマートフォンからも閲覧できます。

『統合報告書 2017』発行

当社の「統合報告書」は、株主・投資家ならびにステークホルダーの皆様に、中長期的な企業価値向上に向けた取り組みをお伝えし、更なる対話のきっかけになることを目指して発行しております。  
編集にあたっては、国際統合報告委員会(IIRC)が発表した「国際統合報告フレームワーク」を参考にしました。  
また、シンプルでわかりやすい表現を目指し、重要な項目について視覚的に内容が理解できるように工夫しました。  
ご希望の方は当社広報IR室までお問い合わせいただくか、当社IRサイトの資料請求フォームをご利用ください。

株式会社カプコン 広報IR室 電話06-6920-3623


財務ハイライト  
株主の皆様へ

事業の概況

中間連結財務諸表

IR情報  
会社データ

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月	
期末配当金受領株主日	3月31日	
中間配当金受領株主日	9月30日	
単元株式数	100株	
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料)0120-094-777	
公告方法	電子公告 当社のホームページ( <a href="http://www.capcom.co.jp/">http://www.capcom.co.jp/</a> )に掲載します。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所	

### ■ ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として株主様が口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、同行にお問い合わせください。なお、同行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

**CAPCOM**



この報告書は、環境に配慮し、  
植物油インキを使用しております。

**UD  
FONT**

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。